

2012年

1月

日	月	火	水	木	金	土
1 休	2 休	3 休	4 📖	5 📖	6 📖	7
8	9	10 📖	11 📖	12 😊 📖	13 ★	14 ★
15 ★	16 ★	17 ★	18 ★	19 ★	20 ★	21 ★
22 ★	23 ★	24 📖	25 📖	26 📖	27 📖	28
29	30	31 📖				

📖 教室のある日



ありの読書会……………10:00~12:30 参加費：300円
「どの子もよく生きようとしている」という人間観で教育から見直しています。

😊 縁側の日……………10:30~12:00 参加費：300円
いつもは第一木曜ですが、1月は第2木曜日にします。
認知症に関心のある方、どなたでもどうぞ！

★1月13日（金）～1月23日（月）は、教室はお休みです。
ノルウェーのお土産話を楽しみにしてくださいね。

★ 教室のFAXの番号が変わっています。（電話番号はそのままです）
222-9077 ⇒ 226-3303

〒514-0821 三重県津市垂水 1200-7

☆豊吉晴子★S.L.S.すぎな☆

Tel：059-222-9077

Fax：059-226-3303

E-mail：haru_sugina1044@wave.plala.or.jp

すぎな <http://www2.plala.or.jp/sugina/index.htm>

すぎなの風(フワ)：http://blog.goo.ne.jp/s_l_s_sugina/



「響き合い」

さて、2011年が終わります。今年は、皆さんにとってどんな年でしたか？
今年は、震災など大きな天災に見舞われ、日本中が揺さぶられた年でした。

私にとっても、下の娘も成人し、母との生活にもピリオドを打つなど人生の大きな節目で、自分自身を見直すなど、発見の多い年でした。

脳梗塞後めきめきと快復していく母と、脳梗塞の再発によって両手両足を動かすことも話すこともままならず寝たきりになった母。まるで対極を見るようでした。しかし、いずれの母からも「よく生きようとしている」のを肌身で感じたことは、大きな驚きでした。

これが、人間の本质なのではないか、とあらためて思いました。

また、「子育てと介護の共通点」を常々感じつつ、それを言葉にできずにいたのですが、やっと見つかりました。

「その人のよく生きようとする力を信じて、よく聞きよく観察し、どうしたら安心できるかを考え、工夫して待つ」。

私にとって、このスタンス（できるできないは別ですよ^_^;）が同じだったのです。

一人ひとりみな違うように、介護される人のサポートも一人ひとりみな違う。また介護する人のサポートも違うのです。これも痛感しました。

また、アイルランドに行ったこと。あれは、身近な人も含め、自分を取り巻く全ての力に委ねるといふ貴重な体験の賜物でした。

そして、心底思い知ったのは、家族も含め、「人」のありがたさです。

そこにいる。それだけで響き合う存在になるのですから。しかし、離れているからこそ起こる響き合いがあることも知りました。

この宇宙にある人間とは、なんと微力でありつつも大きな力を秘めているのでしょう。この原点に戻って、来年からまた新たに私のできることを探ります。



「途中でやめられない！」から「楽になった！」

S.L.S. すぎなでは、小さい子から大きい子、違う学校の子など、いろいろな子が袖を振り合うように、同じ空間で自分の勉強をしています。いろいろな子に出逢いながら、それぞれの学びになってほしいというのも私のこの教室での願いです。

今回は、最近大きな変化を見せてくれたYちゃんのお話をしましょう。

●「やめようか。いや、やる！」

Yちゃんは、初めて教室に来たときは、「勉強はしません！」の一点張りでした。そのYちゃんが入会してからは、ほとんど毎日プリントをしています。

しかし、それはそれで、「お休みすることができない」という彼女の課題でもありました。

どうして？休めばいいんじゃないの？

そう思う人もいるでしょう。私もそう思いました。しかし、彼女にはそれができないようでした。

それと同じように、どんなに難しいプリントでも最後までやります。「目安時間でできるところまで」「〇番まで」と、途中でやめる方法もあります。でも、Yちゃんには、なかなかその方法が受け入れなくて、泣きながらでも最後までするのです。

本当は、できれば本人ももっと楽になりたいはず。だって、「やすもうか。いや！やる！」というやり取りを自分で何度も繰り返しているのですから。

●すごいなあー

その様子に驚いた人もいるでしょう。でも、Yちゃんを責める人は誰もいませんでした。

Aちゃん：私だったら、とっっても最後までできない。
Bくん：こんなに時間をオーバーしたりしたら、もうだめ。1週間に1枚もできないよ。
Cちゃん：こんなに毎日やって、しかも時間がどんどん縮まっているんやから、すごいなあ。
Dくん：途中で止められない気持ち、わかる。

こうして、Yちゃんは、2-25（繰り下がり引き算の筆算）を簡単にクリヤするようになりました。

●プリントを切ってしまうば…？

さて、2-27（3桁-3桁）はちょっとやかい。Yちゃんが泣きながらすることは予測できます。

ふとある方法をひらめきました。

「プリントを切ってしまうば、どうだろう？切ってしまうば、『途中』ではなくなるかも…」

これが、大当たりでした。

Yちゃんは、「切る」ことに抵抗はありませんでした。さらに、「7列までは7分」という「プチ合格・目安時間」を設けたのもよかったようです。

これで、Yちゃんは、泣くこともなく、着実に合格していくことができたのです。

そのうち「切る」代わりに「線を引く」ようになりました。つまり、途中でやめることができるようになった！ということです。

豊吉：Yちゃん、こうやってできる量から、少しずつ増やしていくと、楽やねえ。

Yちゃん：…？

豊吉：うちでも泣いてない？

Yちゃん：泣いてない。

豊吉：ほんじゃ、楽になったっていうことよ。

Yちゃん：楽になった！

楽になりながら力をつけていく方法、一人ひとり合った方法は必ずある。たとえすぐに見つからなくても、きっと見つかるに違いない。

それをあらためて確信させてもらいました。